

(4) 授業力向上（カリキュラム）支援センター

① キャリア教育研修

幼児保健指導グループ研究会

グループ員：榎岡 千晶	(こやのさと幼稚園)	高垣 里穂	(みずほ幼稚園)
高郷 祥世	(伊丹幼稚園)	岩本 理恵子	(ありおか幼稚園)
河本 梓	(稲野幼稚園)	重田 雅麻	(はなさと幼稚園)
松本 珠紀	(南幼稚園)	森 恭子	(せつよう幼稚園)
大野 道子	(桜台幼稚園)	坂本 圭子	(おぎの幼稚園)
北川 千栄子	(天神川幼稚園)	前田 綾花	(いけじり幼稚園)
宮口 千春	(ささはら幼稚園)	村瀬 聡美	(こうのいけ幼稚園)

担当指導主事：時村 孝完

キーワード：教材 緊急カード アレルギー対応

1 研究テーマ

「幼児にわかりやすい保健指導は、どのようにすればよいか」

2 研究内容

(1) 教材や掲示物の情報交換

各園で実践した教材の見直しや、実演を通して意見交換を行った。

(2) 緊急カード作成

2グループに分かれ、緊急時に使用できるカードの作成を行った。

(3) おぎの幼稚園医 林 伸樹 氏による研修

1回目の講話では幼児の感染症や低身長、低体重、肥満についての講話を聴き研修を行った。

2回目はアレルギーとエピペンの使い方についての講話を聴き、その後実際にエピペン注射を発砲スチロールに打つ実習を行った。

3 成果と課題

(1) 成果

① 今回、持ち寄った教材には、視覚的支援の工夫がみられ、各々の手作りであったため、アイデアや工夫を学ぶことができた。また、他者が作った教材を見合うことで、今後の参考にすることができた。

② 緊急時の役割カードは、実際に問題が生じた際に、活用できるように作成を行った。

③ 園医からは、感染症やアレルギーの初期症状、診察時のポイント等幼稚園児の年齢を想定した講話をしていただいたことで、実践の中での自身の言動をイメージして聴くことができた。また、アレルギーの話聞き、実際に保護者フォローに役立てることができた。もしものことを想定し、エピペンを実際に打つ経験ができたことが大変良かった。

(2) 課題

① 幼児にわかりやすい保健指導は、視覚教材があると効果的である。今後も保健指導を実施しながら、教材の活用方法について研究する必要がある。

② 今年度は緊急時の役割カードを作り始めたが、時間が足りず途中で終わってしまった。来年度には完成し活用する必要がある。

③ これからも健康に関する知識の蓄積に励み、養護事務としての資質向上に努める必要がある。

